



1990.8 大阪集会ロゴ

鳥インフルエンザ 本当のことが知りたい

2009年3月22日(日) ワクチントーク in 京都へのお誘い

日時：2009年3月22日(日)

午前10時-12時30分(開場9時40分)

会場：キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室

参加費：500円(資料代)事前申込み不要

会場案内 京都市下京区西洞院通塩小路下ル
(JR京都駅ビル駐車場西側・京都中央郵便局西側)

TEL(075)353-9111

講師：小児科医 林 敬次 さん

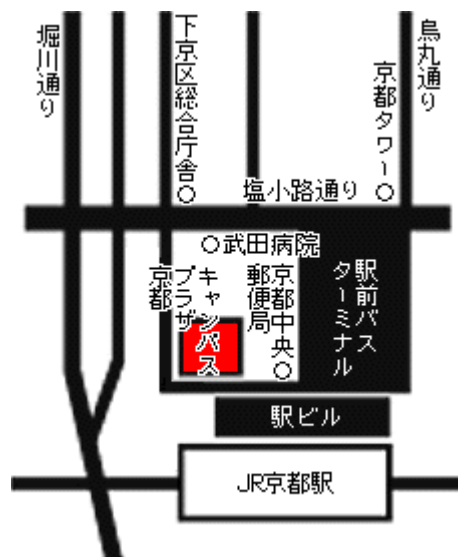
(はやし小児科医院)

主催・問合せ先：ワクチントーク全国

事務局 Tel. 03-3777-1946 青野

前日夜に交流会を予定しています。

宿泊等も含めて希望者は→Tel. 0774-21-4533 栗原



開催にあたって……

インフルエンザワクチンを接種する人が、30万人から2000万人に増えても毎年大なり小なり流行を繰り返すインフルエンザ。小中学生に集団義務接種をしていたときと同じ状況です。10代のタミフル投与は中止が継続されていますが、タミフルの耐性ができたということで浮上してきたのがリレンザ。リレンザを処方され、高校生が死亡したという報道がありました。インフルエンザに罹るとしんどいですから何か薬があるならと思ってしまいますが、暖かいものを食べゆっくり休むというような、昔から言われている対策が一番のようです。

今年のワクチントークは林敬次医師に、鳥インフルエンザってうつるの？ 新型はいつ現れるの？ プレパデミックワクチンって必要なの？ タミフルの備蓄は役に立つの？ と疑問だらけのインフルエンザ対策について講演いただきます。林医師は「インフルエンザにワクチンもタミフルもなし、かぜに抗生物質や余分な薬もなし、の町の小さな小児科医院」で日々子どもたちを診ています。また「医療問題研究会」でさまざまな研究会を開催しています。

その他、討論、質問、意見交換の時間があります。日本脳炎組織培養ワクチンの開発状況、Hibワクチンでわかっていること、増えているBCGの副作用、MRワクチン、その他新しいワクチン開発など、できるだけ資料を集め意見交換をしたいと思います。ぜひ京都へお集まり下さい。

●ジョイント集会のご紹介 (同じ日の午後同じ会場です。入場無料、ただし多少のカンパのご協力を)

京都鳥根ジフテリア予防接種禍事件 60 周年シンポジウム

主催：同事件研究会(連絡先 TEL.0774-21-4533)

1948年予防接種法施行の直後に起こった世界史上最大の予防接種事故で、84名の子供たちが亡くなりました。今回はじめて、被害者らが薬害第1号事件の真相を解明します。